

## 2021年10月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- また、「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきまして、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安をおかけしておりますこと、また、ご不信を与えておりますことについて、深くお詫び申し上げます。

### <就任のご挨拶>

- 本日は、私の就任後、初めての定例会見となりますので、まずは、お集まりいただきました皆さまに、一言ご挨拶を申し上げます。
- 改めまして、このたび柏崎刈羽原子力発電所長に就任いたしました稲垣でございます。あわせて、東京電力の原子力部門を統括する、原子力・立地本部長も兼任することとなりました。
- この発電所を生まれ変わらせることが私の使命であるとともに、会長や社長とも密に連携を取り、原子力部門全体の抜本的な改革を加速してまいります。重責に身の引き締まる思いですが、全身全霊で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

- 先般、原子力規制委員会に核物質防護に関する一連の事案の改善措置計画を報告しております。昨日、原子力規制委員会の臨時委員会で、今後の追加検査の方針等について、議論されたと同っております。
- 今後、行われる原子力規制委員会の追加検査に真摯に対応してまいりたいと思います。また、追加検査の状況や改善措置の実施状況については、適宜、皆さまにもしっかりとご説明してまいりたいと考えております。
- 報告書でもお示したところではありますが、今、当発電所は、安全、品質の維持・向上、セキュリティ確保など、本来求められる基本的な仕事を、発電所自らが適切に実行できる状態に戻すことが喫緊の課題となっております。
- そのために、まずは発電所長として今すぐやらなければならない仕事は、所員一人ひとりの意識を変革していくことだと考えております。
- 具体的には、所員一人ひとりがもう一度「安全が最優先」という意識を徹底的に持つこと、そして「自分たちの役割とは何か」を常に考え、発電所を良くしていくための自覚と責任感を持つように意識づけたいと考えています。
- 所員の意識を変革していくことへの手始めとして、まずは着任初日、全所員に対し、改革に向けた私の決意と地域や社会の皆さまに信頼される発電所作りへの思いを伝えました。

- 独立検証委員会からも核セキュリティに関してトップからのメッセージが十分に届いていなかったことが指摘されておりますが、私の思いを繰り返し所員へ直接語りかけ、対話してまいりたいと考えております。
- 「安全が最優先」という意識を再認識するために、当月 12 日からは、全所員を対象とした福島第一原子力発電所事故の経験を伝える場を設けました。
- 事故を現場で経験した者として、自らの事故の反省と教訓を自身の言葉で所員に伝えることは、私のもう一つの使命であると考えております。
- 参加した所員からは「事故後の入社なので、当時の状況を知ることができた」「再度この事故のことを自分事として捉える必要があると感じた」といった声が寄せられました。
- このように、私から所員へ直接話しかける形で、所員一人ひとりの安全に対する自覚を高める活動を継続してまいります。
- その他の改善措置についても、既にいくつかの取り組みを始めております。一連の事案の根本原因の一つに、現場実態の把握の弱さが挙げられています。

- 管理者による現地現物での業務把握向上に向けた取り組みは既に始まっておりませんが、私自身も精力的に現場に出かけ、現地・現物での業務把握の先頭に立ってまいります。
- 発電所長を兼任する立場の利点を生かし、原子力・立地本部長としても、現地・現物の肌感覚を改革に活かしていきたいと考えております。
- また、先日の会見の中でもご説明させていただきました、HP上での核物質防護に関わる不適合案件の公表について、昨日から掲載を始めました。
- 最後になりますが、原子力部門の改革にむけた取り組みはスピード感をもって進めていく必要があると考えています。
- 私は、今年1月から発電所に常駐しておりますが、改めて東京の本社の人間が現場を完全に把握することは難しいと実感しました。
- そのため、10数名程度のスタッフを東京から発電所に呼び寄せる予定です。彼らは、私を専門的にサポートするとともに、本社と発電所を連携させる役割を担います。

- 一部のスタッフは、工事未完了の改革チームとして既に呼び寄せておりますが、今後、核セキュリティやサイバーセキュリティ、人的リソース配分や育成計画、技術的知見に基づくリスク管理などを行うスタッフも配置する予定です。
- これにより、原子力部門の本社機能の移転検討やプロジェクト型組織の導入、定型的な業務や現場作業の見直し、リソースの強化など、先日の会見で社長が示した改革の実現に向けた取り組みを、加速させてまいります。
- こうした一つひとつの改革を着実に推し進め、再び発電所を生まれ変わらせ、今一度地域の方々から信頼していただける安全な発電所にすることが私の使命です。
- 地域の皆さまに行動と実績でお示しできるよう、所員・協力企業の皆さまとも一体になり取り組んでまいります。
- そして私自身も、地域の皆さまと触れ合う場、貢献できる場に積極的に参加してまいります。様々な接点を通じて、頂戴したお声を発電所運営に反映してまいりたいと考えております。
- 引き続き、皆さまからのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。
- 本日、私からは以上です。

以 上